

市政懇談会「輝く留萌挑戦物語」開催結果報告

【市長あいさつ】

今日は天候に恵まれ、暖かい日となりました。今年、全国放送の旅サラダという番組で天童よしみさんが25年ぶりに留萌に来ました。25年前、留萌小平会のカラオケ大会があった時に天童よしみさんが来て、ステージの前に、黄金岬の岬食堂というところでソフトクリームを食べていた。番組ではこんなふうで紹介をしていました。全国放送になるということはすごいことだと思いますので、色々な形で全国に情報発信をしていく。先週の11月23日（土）には三省堂書店でニコニコ動画を運営しているドワンゴという会社と角川書店が提携を結んだということで、全国10カ所でインターネットを通じた情報発信、まちの状況の発信を行っていた。全国10カ所の内の一つに選ばれたというのも、三省堂書店があったからということで、色々な情報発信の方法があるんだなと思っております。

今年は「輝く留萌挑戦物語」というテーマにしましたが、それぞれの町内会でお互いに支え合いながら、色々な町内会活動に積極的に取り組んでいる皆さんが一番輝いています。その輝きの中で、留萌の子どもたちもいろんなことにチャレンジしますし、また、経済の動きの中でも新しい取り組みが生まれました。去年の挑戦で一番すごかったのは、自衛隊留萌駐屯地の銃剣道の選手が、全日本の青年銃剣道大会で日本一に輝いたということです。日本一ということですから、なかなか有り得ないことで、今までは九州勢の部隊がほとんどで、自衛隊の部隊と大学生が中心の大会ですけど、ほとんど九州勢が優勝していた。初めて、本州、そして津軽海峡を渡って北海道へ優勝旗を持って帰ってきたということですから、これも大変な事だったと思います。

港南中学校のこどもたちは卓球の全国大会へ行きました。また、いま、高校の駅伝が行われます。この高校駅伝に留萌出身で札幌山の手高校で頑張っている成田君が出場し、2区を走るということですから、これも素晴らしいことだと思っております。その山の手高校には2つ前の平野連隊長の息子さんが、留萌で中学校時代に陸上で頑張ってそのままどうしても北海道に残りたいということで、札幌の山の手高校に入って、平野君は残念ながら控えの選手ということになっておりますけれど、チーム一丸となって取り組んでいます。留萌の若い世代がこれだけ頑張っているということは、すごいことだなと思っております。

また、経済の部分では、今まで港の利活用は大変厳しい状況にありました。今年は7月に「につぼん丸」と「飛鳥Ⅱ」という豪華客船が1日に2隻はいるという、大変珍しいことがありました。来年7月7日に再び「につぼん丸」が留萌港に寄港してくれることも決まっております。

また、今年初めて、間伐材で出したトドマツ材が韓国と中国に輸出できたことは留萌港にとっては大きな経済的なニュースではなかったかと思っております。

まだまだ、留萌の経済、人口減少は歯止めがかからない部分があります。しかし、地元の企業に再度挑戦していただいて、そして少しでも雇用を増やす。こういうことに全力を挙げなければならないと思っていますし、今、国は地方創生ということで新たな交付税措置を考えてくれるということでございますから、これはまさにそれぞれの行政がどういう事業を行うのか、アイデア勝負で国の色々な交付金を利用できるということでございますから、その中で皆さん方からも是非地域のコミュニティビジネスの在り方も含めて、色々なご意見、アイデアをいただいて、それらを組み立てながら、何とかこの地域の人口減少に歯止めをかける。そして、雇用を少しでも増やしていく。それについてはある程度、5年、10年先の目標を置いてしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

いずれにしても、これからまた、寒い冬に向かうわけでありますけれど、除雪等の報告もしたいと思いますが、何とか皆さん方と一致協力をして、同じ価値観で今後の行政についても共感をしながら、チャレンジをし続けるというそういう思いだけは強く持ってまいりたいと思います。春夏秋冬の季節感豊かなこの地域の素晴らしい物を再発見して、そしてその底力・潜在能力をしっかり皆さんと確認をしながら、新しい年度につなげたいと思っておりますので、今日はそれぞれのグループの中で忌憚のないご意見を出していただけたら、市民のみなさん方に十分サービスが行き届くよう、また、市民のみなさん方の協力をいただくということにつきましても、十分意見交換を積み重ねながら、しっかりとした体制で臨んでまいりたいと思いますので、ご協力をお願いしたいと思います。改めて、月末のお忙しい時間にお集まりいただきましたことに、心から感謝を申し上げご挨拶としたいと思います。今日はどうもありがとうございました。

【災害に強い地域づくりのために「避難行動要支援者の個別計画をつくろう」】

- ・ 避難行動要支援者への地域での支援内容例を提示し、個別計画の作成に向けての事業の進め方を説明。

【今年の除排雪計画について】

- ・ 除排雪の実施基準や市民雪捨て場、ダンプトラック等の無料貸出制度などについて説明。

【留萌市の介護保険について】

- ・ 介護保険サービスの利用までの流れの説明や市内の高齢者向けの施設を紹介。

【首都圏における留萌観光物産PRについて】

- ・ 首都圏などでの留萌のPRの取り組み状況について説明。

【質疑応答】

- ・ なし

【グループ討議】

参加者を8班に分け、各班においてテーマに沿ってグループ討議を実施した。
詳細については別紙のとおり。

【終わりに（副市長あいさつ）】

みなさんお疲れ様でした。そして長時間にわたりご議論いただき誠にありがとうございます。司会の方からもあったと思いますが、みなさんからいただいたご意見等につきましては、施策の材料にさせていただきたいと思っておりますし、また、様々な要望等につきましても、今回は持ち帰らせていただいて、所管の方で整理をして、また、みなさんの方にきっちりした形でお返ししたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

また、例年と同じく、1月下旬か2月上旬には町内会長会議と懇親会を開催したいと思っておりますので、その際に多くのみなさんの参加をお願いしたいと思います。最初に防災の話をしたと思いますが、みなさんもお承知の通り、先週長野県で大きな地震があり、若干怪我人が出たということですが、亡くなった方がいないという幸いなことです。これは、ニュース等でもご覧になったと思いますが、特に白馬村で、町内会組織がしっかりしていて、隣近所誰がどこにいるか、もっと言えばだれがどこで寝ているかまで把握されていたということで、家が崩壊しても探す場所を、町内会の方、住んでいる消防団の方々が的確に判断をして、そして消防署、警察等に伝え、そこで時間もかからず救助をされたという大きな報道がされていました。やはり、できれば町内会で自主防災組織をつくっていただいて、また、地域にどんな方がどのような形で住んでいるかということもみんな把握して、何とか住みやすいまちづくりに協力をしていただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

今日は本当に2時間という長時間にわたってのご議論、誠にありがとうございました。これをもちまして終了とさせていただきます。